

議員提出第 6号

国民健康保険に対する国庫負担を見直し増額を求める意見書

吉川市議会会議規則第13条の規定により、上記意見書を別紙のとおり提出する。

平成22年6月16日

提出者 吉川市議会議員 佐藤清治

賛成者 吉川市議会議員 稲垣茂行

〃 安田真也

〃

〃

〃

〃

吉川市議会議長 日暮進様

提案理由 口頭

国民健康保険に対する国庫負担を見直し増額を求める意見書

国民健康保険は1958年の国民健康保険法によって健康で文化的な最低限度の生活を保障する日本国憲法第25条を医療面で具体化し、国民皆保険制度を実現するものとして制度化された。

現在、国民健康保険加入者の状況は高齢者が増え、さらに青年の非正規雇用者の加入者なども増えている。そのため国民健康保険加入者は低所得者が多く保険税の支払いが困難になっている世帯が増えている。国民健康保険には他の保険のような事業主負担に当たるものがないため、国が国庫負担を定めている。保険税が高くて支払いが困難になっている原因は国が国庫負担率を引き下げたことが大きく影響している。

よって国におかれましては国民健康保険を真に社会保障として存続させ、加入者が安心して必要な医療が受けられるようにするため国庫負担を見直し、増額されるよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定に基づき意見書を提出します。

平成22年6月16日

埼玉県吉川市議会

提出先

内閣総理大臣

財務大臣

厚生労働大臣